

寮生（入寮希望者含）の教養としての 南豫明倫館の歴史と人物（早わかり）

平成28年12月作成

（公財）南豫奨学会・南豫明倫館

（参考文献引用：木下博民氏著「南豫明倫館」（創風社刊）

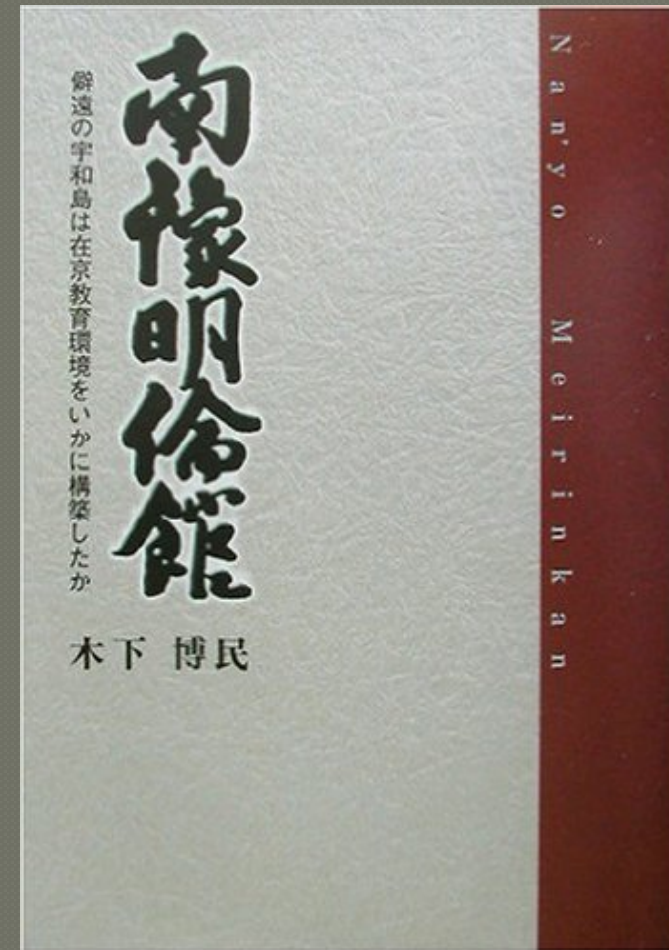
1. 主旨について

木下博民先生著「南豫明倫館 -僻遠の宇和島は在京教育環境をいかに構築したか」

※の内容を抜粋し、在寮生（入寮希望者）として知っておいて欲しい内容に絞り、ご紹介する。

※希望者は**AMAZON**にて、ご購入ください。

南豫明倫館—僻遠の宇和島は在京教育環境をいかに構築したか
(創風社出版)



3. 予備知識

- 宇和島

- 宇和島市（うわじまし）は、愛媛県の南部に位置する市。旧北宇和郡の一部と旧宇和島市の合併により発足。

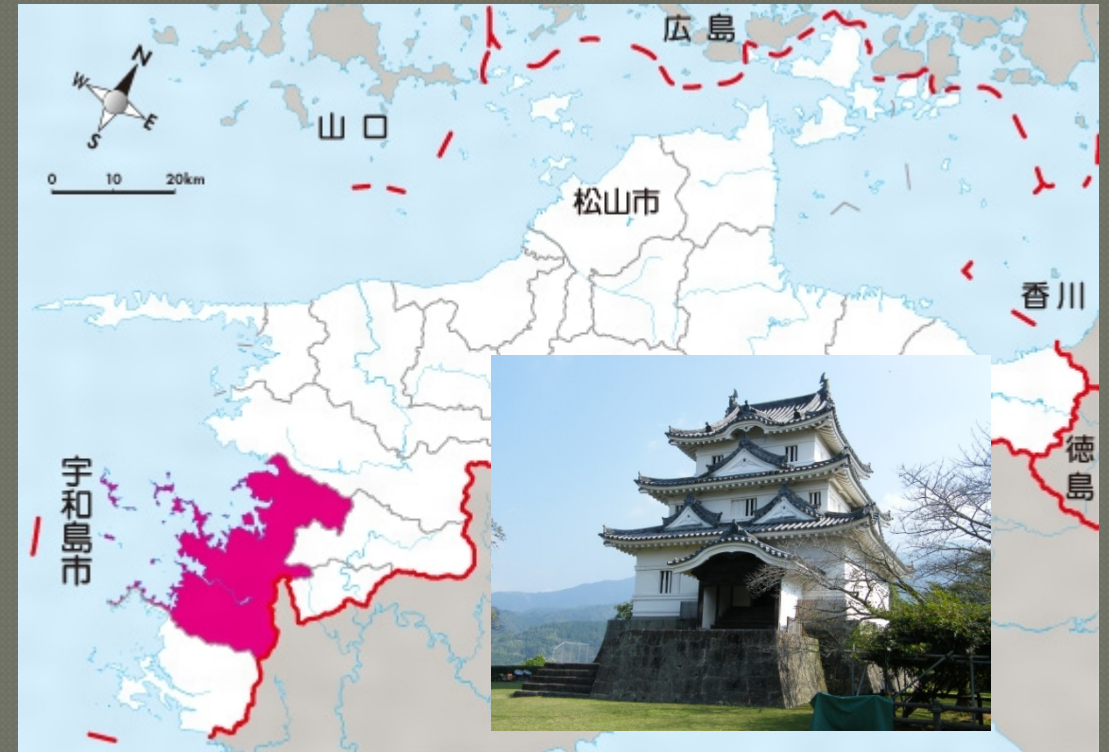
28年3月現在、人口80,115人。

- 南予（南豫、とも）

- 愛媛県南部の総称。

- 宇和島藩

- 東北の雄、伊達政宗の長男、伊達秀宗が約400年前に宇和島に入封（にゅうほう）し発足。10万石。8代宗城（むねなり）公は名君として知られる。



宇和島城（国指定重要文化財）

4. 歴史

「所在地」に着目し、以下の4つに分けて解説する

- 1) 神田甲賀町時代（明治**16**年（**1883**）～大正**9**年（**1920**））
- 2) 小石川大塚仲町時代（大正**9**年（**1920**）～昭和**20**年（**1945**））
- 3) 上目黒時代（昭和**28**年（**1953**）～昭和**61**年（**1986**））
- 4) 小金井時代（昭和**61**年（**1986**）～現在）

1) 神田甲賀町時代

①概要

- 明治16年（1883）～大正9年（1920）
「伊達奨学会」による運営
- 伊達家控屋敷の長屋に南予出身の数人の書生が居住し自発的に「明倫館」と呼称したのが始まり。
- 館生の自治運営、無償を原則とした
監督：穂積陳重（東京帝國大学教授）
松浦鎮次郎（文部大臣）
他



明治5年、第一番中学生徒 明治5年8月、大学南校が第一番中学と改称された
左から一瀬勇三郎、野村珍吉、穂積陳重、杉浦重剛、中村弥六、志賀泰山

②神田甲賀町時代 所在地

- 現在の東京都千代田区
- 神田駿河台3丁目1, 3, 5, 7, 9番地



③神田甲賀町時代の在寮生についてその1

● 詩人 中野逍遙 (1867-1894)

「中野逍遙は、～（中略）～逍遙の漢詩は、青春の情熱と豊かな叙情を、沈痛奔放に表現し、島崎藤村らの新体詩人に先駆する近代浪漫主義文学の代表詩人であると、高く評価されている」

(宇和島市教育委員会)



④神田甲賀町時代の在寮生その2

- 中尾幸雄
(ゼネラル石油社長)

「愛媛県南宇和郡愛南町出身。
1947年(昭和22)ゼネラル物産を創立し社長に
就任。1958年ゼネラル石油奨学会設立。
理事長に就任。

1958年、ゼネラル石油を創立し社長に就任。
1961年、石油連盟会長就任。
1965年、勲三等瑞宝章受章。
ゼネラル石油名誉顧問。



平成7年6月の中尾幸雄(左)。右は岡本健。ゼネラル
石油名誉顧問室にて
戸梶学撮影



⑤神田甲賀町時代の学生の様子



南甲賀町時代の記念写真①

大正9年2月11日、神田南甲賀町明倫館2階大広間にて館生記念写真。

中央の美髯は監督松浦鎮次郎



南甲賀町時代末期の記念写真②

明治38年5月、写真館にて館生記念写真。

三谷和子提供

※文部大臣秘書官兼文部省参事官（当時）、後に文部大臣

2) 小石川大塚仲町時代

① 概要

- 大正9年（1920）～昭和20年（1945）
「伊達奨学会」による運営
- 伊達家別荘地に寮を建設し、
「侯爵伊達家明倫館」と称す
- 舎監：竹村貞一郎
（元陸軍砲兵大佐）



初期の大塚明倫館
大塚仲町明倫館写真でもっとも初期のものと思われる

②文京区大塚仲町時代の所在地

- 現在の文京区大塚4丁目20番
- 昭和20年4月13日空襲で焼失



約百三十機、昨曉
 帝都市街を盲爆
 約五十機
 に損害 十五機を撃墜す
 大本營発表
 昭和二十五年三月二十一日
 十機主力を以て帝都市街に空襲市場地を襲撃せり
 右目標により都市各所に火災を起したるも空襲警報は三時三十分迄の他は八時頃迄に鎮火せり
 現在迄に判明せる戦果次の如し
 撃墜 十五機 損害を與へたるもの 約五十機
 單機各所から低空侵入



③小石川大塚仲町時代 学生の様子



④ 「伊達奨学会」の終焉（昭和25年）

● 解散の理由

1. 「侯爵伊達家明倫館」の戦災による焼失
2. 奨学金貸与者（寮生）からの返済の見込みが立たなくなった
3. 帝國銀行株の消滅（戦時損失補てんに充当）
4. その他の株も配当金がなくなり運営資金確保の見込み立たず



経済的に再起不能となり、「伊達奨学会」の事業
中止

⑤南豫奨学会の設立と明倫館の「創建」

●背景（「伊達奨学会の改組と事業の再興」（昭和**27**年））

1．東京進学について、

住宅事情のために有望な人材が希望を阻まれる

- ・学業途中で戦線へ駆り出された学徒が続々と復学した
- ・職業軍人だった人々が改めて文科や理工科に転向した

2．学生寮建設が急務



伊達家のみに依存しない「南豫奨学会」の
設立気運高まる

⑤南豫明倫館の「創建」に尽くした人々(1/2)

いずれも明倫館の寮生ではなかったが
創建に必要な資金集め等に奔走した。

(以下、敬称略、順不同)

- **今松二郎**

- ・ 衆議院議員（当時）、元内務官僚、
和歌山県知事

- **松根宗一**

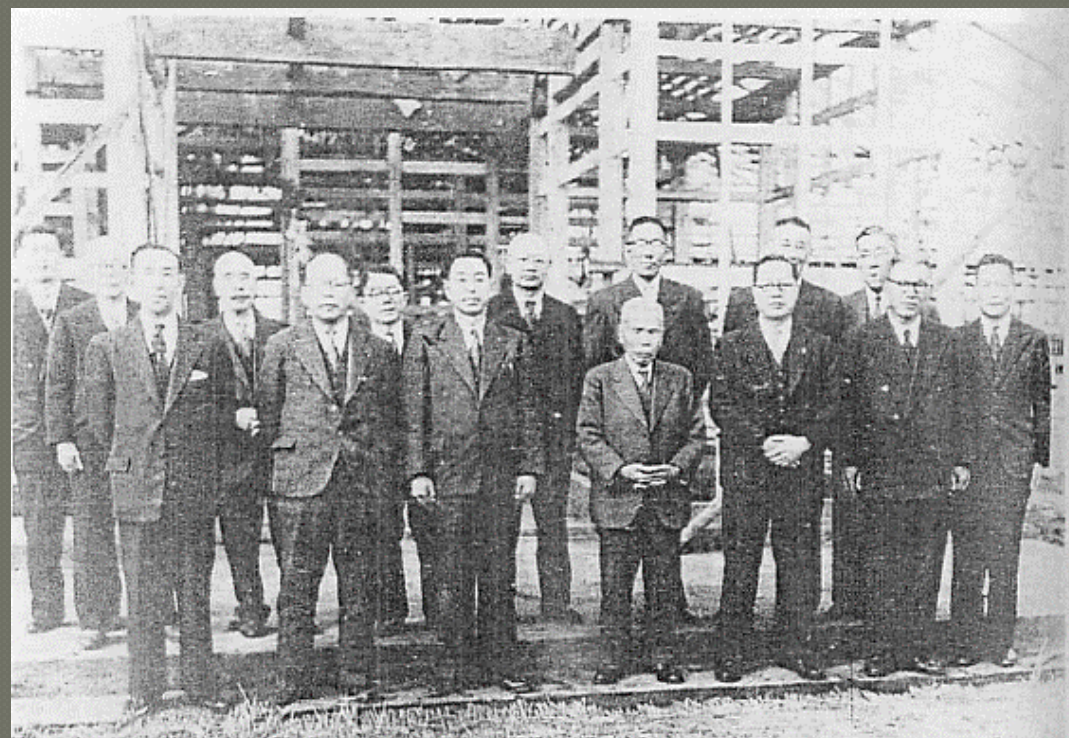
- ・ 日本電力連盟書記長、理研工業役員

- **増原恵吉**

- ・ 警察予備隊本部長官（当時）、後に
参議院議員、防衛庁長官

- **大塚栄治郎**

- ・ 十河信二（国鉄総裁、「新幹線の
父」）の秘書



南豫明倫館上棟式記念写真

昭和 28 年 3 月 8 日

都築俊三郎

馬場緑二 中沢冬生 吉野専一 山内豊治 浜屋寛三 松根宗一 大塚栄治郎

佐川武彦 今松治郎 押方敬一 芝義太郎 増原恵吉 八幡屋春太郎 大和田昇

⑥明倫館の「創建」に尽くした人々(2/2)

南予出身の成功者が大口の資金提供者となり、創建の条件が整った。

● 芝義太郎

- 東京機械製作所 創業者

● 山下亀三郎

山下汽船（株） 創業者

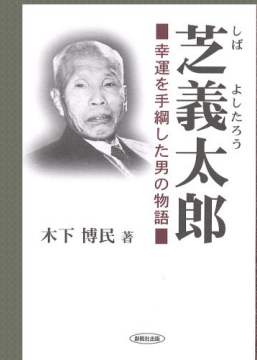
※ちなみに石原慎太郎、裕次郎
の父親は当会社の役員だった。

● 井関邦三郎

- 井関農機 創業者
等々



東京機械製作所
(TKS)



3) 上目黒時代

①概要

- 昭和28年（1953）～昭和61年（1986）
- 「南豫奨学会」による運営
- 「南豫明倫館」と称す男子寮
- 初代館長：大和田昇（元海軍少将、
戦艦「山城」元艦長）
- 女子立入禁止
- 前館長戸梶氏や岡本常務理事が在籍した



南豫明倫館 建物外観

②上目黒時代 所在地

- 目黒区上目黒6丁目1488番地
- 東大（駒場）まで約3km



南豫明倫館周辺の風景
(舗装もされていなかったらしい)



③上目黒時代 学生生活

- 南豫明倫館細則（抜粋）
 - ・ 第五条
（前略）～館内に於いては一切の政治活動を許さない
 - ・ 第八条の五
入浴は、週二回（日、木）を標準とする。
- 若者の共通の興味は「政治」
- 活力に溢れた時代



4) 小金井時代 概要

- 昭和61年（1986）～現在
「南豫奨学会」による運営
 - ・ 理事長 伊達宗信氏
- 老朽化した上目黒寮の売却により移転。
 - ・ 大通りからはずれた閑静な住宅地
 - ・ 土地が安かったから
- 女子立入禁止（男子寮のため）
- 南豫明倫館になって以降、卒寮生は1,200名以上



まとめ（再度）

- 南豫明倫館は、宇和島藩の藩校の流れをくむ伝統ある奨学施設
- 戦前の「侯爵伊達家明倫館」は戦災で焼失
- 郷土有志により「南豫明倫館」として再興
- 神田にはじまり、**3回**の移転を経験し小金井市へ
- 再興以来、卒寮生は**1,200**名以上
- 神田時代から**130**年以上、小金井創建以来**60**年以上を経て、
- 今後のありかたが問われている

■南豫明倫館文庫について

当南豫明倫館元館長・木下博民先生著「南豫明倫館文庫」があります。
ご希望の方は当館・井伊館長にお問い合わせください。（頒布価格は各千円）
（以下「南豫明倫館文庫」）

- ・「南予をこよなく愛した歌人吉井勇」（2009年9月刊）
- ・「日本の近代化を宇和島藩から考える」（2009年10月・近藤俊文著）
- ・「宇和島鉄道と山村豊次郎」（2009年12月刊）
- ・「回想お練り・宇和島『凱旋桃太郎踊り』」（2010年1月刊）
- ・「大和田建樹ノート」（2010年10月刊）
- ・「作家吉村昭を魅了した『歴史と味の町・宇和島』」（2011年3月刊）
- ・「敢為の小説家司馬遼太郎『宇和島へ行きたい』」（2011年11月刊）
- ・「文豪獅子文六先生の南国宇和島滑稽譚」（2011年10月刊）

※前館長・木下博民氏はこのたび「宇和島市功労賞」を受賞されました。

南豫明倫館の将来を共に支える皆さまへ

- 1.南豫明倫館は、郷土の先輩方の努力で支えられてきた。
- 2.皆様はこれからの南豫明倫館を、どんな風にして
いきたいですか？



ご意見、ご感想は当財団理事 藤田（motonobu.fujita@gmail.com）まで